

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第1回理事会

平成7年12月

第1回理事会議事録

財団法人女性のためのアジア平和国民基金

1、開催日時・場所

平成7年12月19日(火) 9:30~11:30
基金事務局

2、出席者

▼理事会

原理事長、有馬副理事長、榎本理事、金田理事、金平理事、
下村理事、山口理事、鷲尾理事

▼オブザーバー

内閣官房外政審議室／東審議官

▼事務局

外務省アジア局地域政策課／篠原地域調整官、宮川事務官
和田事務局長、多賀業務第一部長、原田事務局員、岡事務局員

3、議事録署名人

理事長 原文兵衛
理事 金田 一郎
理事 下村 満子

4、議事次第

■報告および審議事項

【財団法人化第一回理事会】

▼設立者より挨拶があった。

▼理事長、副理事長の互選が行われた。

▼寄付行為、事業計画、予算、内部規則の報告が行われた。

- ・本日付で、大蔵省へ指定寄付の申請が行われた。
- ・寄付行為の定めにより、後日評議員会を設置することとなった。

▼対話チーム派遣について

- ・韓国、フィリピン、台湾への対話チーム派遣日程、メンバー、現地での面談者等(予定)が報告された。

▼償い金の金額について

- ・現地での対話の要のひとつとして、償い金の内容をどのように伝えるべきかについて討議した。これについては再度運営審議会でも審議を続け、対話チーム出発前の理事会において、最終的に決定することとなった。

▼広報について

- ・添付資料に基づき、作業の進行状況が報告された。

▼募金活動について

- ・省庁や地方自治体の職域募金、労働団体等の募金活動状況について報告があった。

▼NHK「ETV特集」について

- ・過日放映された同番組の内容について、基金側の主張がほとんどなく、公共放送と

議事録

して偏りが過ぎるのではないかとの意見が出された。

- ・基金としてしかるべき相手に対し、公正な番組制作を要求すべきであるとの意見が出され、賛意を得た。また、今後は論説委員と懇談するなど、基金として理解を求める努力をすべき、との意見が出された。

▼議事録の送付について

- ・会議の論点について基金関係者が共通認識を得ることを目的に、理事会議事録を運営審議会委員、呼びかけ人にも送付することとなった。

▼郵政省寄附金配付の申請について

- ・基金事業の費用補填を目的として、「お年玉年賀葉書等寄附金」配付の申請を行ったことが報告された。

以上